

## 0 理念・目的・教育目標

### 進捗状況報告

1. 2007年度から、本研究科院生と他大学院生との学術交流および本研究科院生の対外的な学問的競争力の増強を目指して、経済学ワークショップと経済学奨励セミナーを新設した。前者では、招待した他大学院生と本研究科院生が、専攻グループ別（数グループ）に研究報告をおこない、他大学教員（招待）と本学教員のコメントをもらい、参加者のあいだで討議を深めた。後者では、第一線にたつ若手研究者を招待して先端的な研究報告を聞き、本研究科院生の研究に刺激を与えられようとした。両者とも効果が見られたので、2008年度以降も行う予定である。
2. 共同演習をさらに進めて、複数指導制（主指導教員と副指導教員制）を設け、セカンド・オピニオンをより自由に活用できる体制の準備を進めている。
3. 本学で単独研究科で唯一設置している社会人コース（エコノミストコース）は、学力レベルの格差、教員の人的資源の制約等の理由で、1研究科のみでの存続には限界に来ており、大学全体に社会人の大学院コースを設け、そこに本研究科が乗り入れるなど、新しい展開が望まれる。
4. すでに実施している法学研究科との連携に続いて、商学研究科とも連携も課題であるが、両者にその意欲がありながら、なおハードルがあり、実現に至っていない。

### 学内第三者評価

2003年度に設定した1の目標について「経済学ワークショップ」「経済学奨励セミナー」が新設されるなど、目標に向けた取り組みが着実になされているものと認められる。また、2003年度に設定した2の目標について、他研究科との連携拡大や大学全体での取り組みなどにより目標が達成されることが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
教育目標である新しい学問動向をより敏速に研究教育に反映することについては、ワークショップやセミナーへの取組等にも表れている。高度職業人の養成については、他の研究科との連携が実現することが望まれる。